

超行動派。 横浜市議員(旭区選出) 民権フォーラム横浜市議員団所属

2019年 3月上旬号

やすひろ

ことがゆ康弘 市政報告




連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川 1-5 (ことがゆ康弘事務所) ホームページは [ことがゆ](http://www.kogayu.net) 検索

TEL/FAX: 045-366-9381 メール: [info@kogayu.net](mailto:info@kogayu.net) <http://www.kogayu.net>

## 横浜市政 主要課題の現状と対応策(その3)

### 地域交通

近年、マイカーの普及や少子化などにより路線バスの利用者が減少し、既存バス路線の減便や廃止などが相次いでいます。その結果、駅から遠い地域では買い物や病院まで行くのに不便を感じる市民が増加しています。

加えて、高齢化の進展に伴い自家用車の運転が困難になったり、今まで歩いていた道のりでも歩くのがつらい…などの理由で、自宅に近い地域での新しい移動手段を求める声が年々増加しています。

旭区は山坂も多く、駅まで15分以上かかる、いわゆる「交通空白地域」の面積も広いので、高齢者を中心に、コミュニティバスや乗合バスなどの地域公共交通の要望が各地で出されています。こうした状況の中、旭中央地区(四季美台・今川町)で横浜市の「地域交通サポート事業」を用いた「四季めぐり号」の本格運行が実施されていました。しかし利用者数・採算性などの理由により、昨年10月に運行が終了しています。

(旭区には現在、若葉台の「わかば号」や左近山の「左近山おでかけワゴン」が運行していますが、まちづくりセンターやNPOが運営しています。)



H15~19年のハマちゃんバス(西区)も採算悪化で終了…

#### 地域交通サポート事業の課題



地域交通サポート事業は現在市内の13か所で本格運行されていますが、以下の課題があります。

- プロの運転手や車両のメンテナンスなどの運行経費がかさむため、採算性の確保が困難であり、参入する事業者が見つからない。
- 実証運行(最長で1年)での赤字補填や初期費用の補助は行いが、本格運行では市の財政的支援がないため収支の均衡が困難。
- 自治会・町内会などの地域の担い手が不足する中、地域交通の運営組織の立上げや維持、利用促進に向けた活動などが困難。
- バスの走行やバス停の位置などに関して運行路線の沿道の合意と了解がなかなか得られないケースがある。

「地域交通サポート事業」とはバス路線がない地域などで、住民が主体的に地域交通の導入に向けて取り組んでいる活動に対して横浜市が様々な支援を行う事業です。

<主な支援>

- 検討時の市職員の派遣
- 需要予想・分析の実施
- 運行計画の策定
- 実証運行経費の赤字分と初期費用の補助など

#### ことがゆ康弘が主張する課題への対応策



課題解決のため、今後は以下の対策が必要です。

- 運行事業者が参入しやすい仕組みづくりと、本格運行時の経費補助など行政の柔軟な対応で運営の安定化。
- 自治会などの地域組織に過度な負担がかからないよう、本格運行後も事業者や行政との役割分担が必要。
- 利用者ニーズを的確に把握し、高齢化の状況などを踏まえてルートなど運行計画の見直しを臨機応変に実施。
- 住民の予約に応じて運行するデマンドバスなどICTを用いた新たな手法の導入。(今後、若葉台で実証実験を予定)
- 現在の事業スキームにとらわれず、福祉的視点から地域交通に対して思い切った公費を投入すべき。



昨年10月に運行が終了した旭中央地区の「四季めぐり号」ですが、地域の強い要望もあり、来年度の早い時期に新たな事業者のもとで再開することとなりました！今後は、利用者増に向けた促進策等による運営の安定と、持続可能な地域交通の確立が望まれます。

※旭区では希望が丘や上白根でも地域交通のニーズがあります。ことがゆ康弘は今後も実現に向けて取り組みます！



## 市営地下鉄3号線(ブルーライン)の延伸 あざみ野から新百合ヶ丘まで が決定!

横浜市高速鉄道3号線の延伸(あざみ野~新百合ヶ丘)について、事業化に向けて横浜市と川崎市が協議し、事業計画についての合意形成を進めてきました。このたび、本事業の整備効果、延伸区間の費用対効果及び採算性が認められることから、横浜市として事業化することと決定しました。今後、事業許可に向けて、国や関係者との協議・調整を進めていくこととなります。

本路線は、横浜市営地下鉄ブルーラインを延伸するもので、横浜市交通局が事業主体として横浜市営地下鉄あざみ野駅(横浜市青葉区)から小田急線新百合ヶ丘駅南口付近(川崎市麻生区)までの約6kmの区間を整備、運行します。延伸区間には新たに4駅を設置し、交通政策審議会答申の目標年次である、**平成42(2030)年開業を目指します**。本路線の整備効果として、鉄道のネットワークが充実することによる広域的な交通利便性の向上や、新幹線へのアクセス機能が強化されるとともに、新駅設置による利便性の向上や、駅周辺まちづくりなど、沿線地域の活性化が期待されます。

今後、国や関係者との協議・調整を進めるとともに、鉄道事業法や都市計画、環境影響評価等の手続きを経て早期の事業着手を目指します。

### 地下鉄3号線延伸区間の概略ルート・駅位置図



※概略ルート3案については、総合的に評価した結果、「東側ルート」を、より整備効果が高い有力ルート案と考えています。

## 平成30年度旭区区民意識調査の調査結果がまとまりました!

旭区ではおおむね3~4年に一度、区民意識調査を実施しています。旭区の特徴や生活環境、行政サービス、地域活動、防災、健康・福祉などについて、区民の皆さまの意識やご意見、ご要望を把握することにより、今後も住みよいまちをつくるための基礎資料とすることを目的としています。

調査対象：旭区内に居住する20歳以上の男女3,000人。抽出率1.2%  
抽出方法：住民基本台帳と外国人登録原票からの無作為抽出  
調査方法：郵送による無記名調査(郵送配付、郵送回収、葉書督促1回)  
調査期間：平成30年9月21日(金)から10月22日(月)まで  
回収数：1,694件(回収率56.5%)

調査結果のポイントは以下の通りです。(詳細は旭区のHPをご覧ください)

- 旭区に今後も住み続けたいという定住志向は全体の8割弱に。
  - 旭区は住みやすいと思っている方は増加傾向にあり全体の5割強。
  - 生活環境に満足している方は5割強で、特に「バスや鉄道の利便性」「最寄り駅周辺の整備」が高評価
  - 旭区の誇れることは?との問いに対して1位は「大規模な公園」(ズーラシア、こども自然公園など)
  - 行政に取り組んでほしいこと、の上位は「歩きやすい歩道の整備」「バスや鉄道の利便性」「高齢者福祉」
- 上記の調査結果を踏まえて、**ことがゆ康弘**は区民の想いに寄り添った施策の充実に努めてまいります。



**横浜市議員 (旭区選出) ことがゆ康弘 プロフィール**

昭和42年鶴見区生まれ。早稲田大学大学院卒業後13年間の民間企業勤務を経て、横浜市議員に。2006年初当選(現在4期目)  
【2018年度】  
常任委員会：こども青少年・教育委員会(副委員長)  
特別委員会：健康づくり・スポーツ推進  
国民民主党神奈川県第6区総支部代表

小さなことでも気軽に  
ご相談下さい!  
"地域の声"が活動の源です!

連絡先：〒241-0821 旭区二俣川1-5(事務所)  
TEL/FAX：045-366-9381  
メール：info@kogayu.net  
http://www.kogayu.net

facebook FACE BOOKのウェブから「ことがゆ康弘」で検索

ことがゆ 検索